１　指導者　松本　真美

２　単元名　「Unit２　How is your school life?」

３　本単元で身に付けたい資質・能力

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 本単元で目指すレベル | **１** | **２** | **３** |
| ① | 知識及び技能 |  |  | ○ |
| ② | 思考力，判断力，表現力 |  |  | ○ |
| ② | 共感的な人間関係 |  |  | ○ |
| ③ | チャレンジ精神 |  |  | ○ |

４　単元設定

（１）単元概要

本単元は，学習指導要領解説「外国語科の目標及び内容（３）話すこと」に準ずるもので

ある。

イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

　本単元は，世界の子どもたちや自分たちの日常生活などについて，短い話を聞いてその概

要を理解したり，語彙（乗り物，一日の時間，文房具，一日の生活，日常生活）や表現（I live in～.,I go to～.,My treasure is～.）を使い，伝え合ったりすることをねらいとしている。単元の終末には，単元で積み上げてきた学びを活かして，ALTや友達に伝え合う活動の場を設定することによって，英語で伝え合うことの喜びや自信につなげていくことができると考える。また，世界の人々の生活や思いにも触れる中で，日本との文化の違いやそれぞれの国の良さに気付かせ，他教科にも活かしていくことができるよう計画した単元である。

（２）単元目標

　　〇語彙（乗り物，一日の時間，文房具，一日の生活，日常生活）や表現（I live in～.,

　　　I go to～.,My treasure is～.），世界の人々の生活や文化に対する理解を深めることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（知識・技能）

　　〇語彙や表現を使い，日常生活について自分のことを伝え合うことができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（思考・判断・表現）

　　〇語彙や表現の意味を分かろうとし，伝えようとしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（主体的に学習に取り組む態度）

（３）児童実態及び指導の手立て

　　本単元に対するアンケート調査と単元テスト（令和３年５月１４日）の結果は，以下の通りであった。

１　外国語科の授業に進んで参加している　　　　　　　　　肯定的評価　　　８６％

２　もっと英語を学びたいと思う　　　　　　　　　　　　　肯定的評価　　　７６％

３　英語で発表したり，対話したりする時，自分の考えや

　　気持ちを伝えている　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的評価　　　７６％

４　Unit1「This is me.」 　　　　　　　　　正答率　９１％（知４４％　思４７％）

　　本学級の児童は，４月から新しいALTを迎え，出会いの喜びとともに積極的にかかわる姿が見られる。アンケート結果から，「英語を学ぶことが楽しい。」「他国に行って，たくさんの人と話して仲良くなりたい。」など，意欲的に学ぼうとする児童もいる一方，「何を言っているのか分からず楽しくない。」「将来，英語は使いそうにない。」など，英語を学ぶ姿勢や意欲面において課題が見られる児童もいる。また，英語での発表や対話になると積極的に伝えようとする姿が減り，会話が成立しない時もある。「語彙や表現の意味がよく分からないから。」「英語でどう伝えたらよいのか自信がない。」などの理由が挙げられた。また，単元末テスト結果から，月・日の語彙を十分に理解して，聞き取ることが十分できていなかったり，４線上に正しく書くことができていなかったりした児童がいた。

よって，教師が積極的に英語を使ったり，ALTから学ぼうという姿勢を見せたりして，間違いを認め合う温かい雰囲気づくりをしていく。そして，語彙や表現を繰り返し使う場の設定や対話場面を増やし，自信を高めさせていきたい。

　　指導にあたっては，「わたしブック」を作成して，伝え合うことを単元のゴールとして設定し，そのゴールに向かい目的意識を持たせながら，毎時間の授業を積み上げていく。語彙や表現は繰り返し練習とともに，児童が楽しみながら学ぶことができるようにゲームやチャンツを取り入れていく。伝え合いの場では，双方向のやりとりの楽しさを味あわせるために，

　つながりカードを活用しながら英語で伝え合わせたり，表情やうなずき，ジェスチャー等の大切さも伝えていく。

　　また，世界の人々の生活や思いにも触れる中で，日本との文化の違いやそれぞれの国の良さに気付かせていき，英語や世界のことをもっと知りたい，調べたいという思いを持たせていき，その思いを社会科等の学習にも活かしていきたい。

　　ICTの活用においては，教師がCDで音声や映像を流したり，総合的な学習の時間と関連させ，児童がクロムブックのジャムボードにまとめたりする活動を仕組んでいく。毎時間，児童が学んだこと（①写真②語彙）をジャムボードにまとめ，その積み上げが「わたしブック」となり，それをもとに伝え合いの場を設定していく。

　　これらの指導を通して，語彙を増やしたり，英語を学ぶ意欲や英語で伝える喜びを持たせたりすることにつながると考える。

（４）単元構想の工夫

　６年の外国語科のテーマは，「世界に生きるわたしたち」である。それぞれの単元において，英語表現を学ぶだけではなく，世界の国々を知る，そして，世界と日本のつながりを考えることができる。

そこで，単元構想を「広がる　深まる　ワ（wonderful） ワ(world) 輪」として，身近な人との輪，世界の人との輪を広げ，深めさせていきたい。そして，学んだことを活かし，社会科「世界の中の日本」「世界の未来と日本の役割」につなげていく。また，総合的な学習の時間「クロームブックを使えるようになろうプロジェクト」との関連も図り，毎時間の学びをジャムボードにまとめさせ，更にそれをALTや友達に伝える場を設ける中で，つながりを深めさせることができると考える。

（５）資質・能力とのかかわり

「思考力・判断力・表現力」に関して，世界の人々の生活に触れる中で，日本との生活や文化の違いに気付くとともに，自分の日常生活や宝物を伝えたり，相手のことをより深く知ったりするために，語彙や文章表現を用いて，伝え合う力を付けたい。

　「共感的な人間関係」に関して，友達と考えを伝え合ったり，かかわったりする場を大切にする中で，互いのよさを認め合い，高まり合わせていきたい。また，ALTや世界の人々に対して，尊重する気持ちを持ち，かかわっていく力を付けたい。

　　「チャレンジ精神」に関して，学んだことを活かしながら，「世界や外国語のことを

　もっと知りたい。調べたい。」という新たな課題に向かって挑戦しようとする力を付けたい。

５　単元計画（全8時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小単元名 | 学習内容 | 本時のねらい | | | ・児童の「学び」の姿  （例）～している。  ☆ICTの活用 | 育成できる資質・能力 | | |
| 知 | 思 | 学 |  | ② | ③ | ④ |
| （社会科）  （総合的な学習の時間）  「世界の子どもたちの学校生活や日課を知ろう」  　　　（３） | ○単元計画を立て，見通しを持つ。  ○世界の子どもたちの学校生活や日課を会話や映像をもとに知る。 | ○ |  | ○ | ・世界の子どもたちの日常生活などについてやり取りの内容を理解している。  ・「わたしブック」を作成して伝え合うという単元のゴールを知り，毎時間の授業を大切に積み上げていこうという思いを持っている。  語彙：乗り物，一日の時間・文房具  表現：I live in～.,I go to～  ☆CDで映像や音声を流す。  ☆クロームブックのジャムボードに学んだ語句をまとめる。 | ○ | ○ |  |
| （総合的な学習の時間）  「日常生活を伝え合おう」  　　　（１） | ○ふだんすることについて語彙や表現を使い，伝え合う。 | ○ | ○ |  | ・自分たちの日常生活を伝える語彙や表現を理解し，伝えている。  語彙：一日の生活  表現：I usually～.  ☆CDで映像や音声を流す。  ☆クロームブックのジャムボードに学んだ語句をまとめる。 | ○ | ○ |  |
| （総合的な学習の時間）  「宝物について伝え合おう」  　　　（１） | ○宝物について，語彙や表現を使い，伝え合う。（本時） | ○ | ○ |  | ・自分の宝物を伝える語彙や表現を理解し，伝えている。  語彙：日常生活  表現：My treasure is～.  ☆CDで映像や音声を流す。  ☆クロームブックのジャムボードに学んだ語句をまとめる。 | ○ | ○ |  |
| （社会科）  「世界の人々の生活について考えよう」  　　　（１） | ○世界の人々の大切なものについて会話や映像をもとに知る。 | ○ |  | ○ | ・世界の人々の生活について考え，世界と日本の文化の違いに気付き，理解を深めている。  ・世界のことについてもっと知りたい，調べたいという思いを持っている。  ☆CDで映像や音声を流す。 |  | ○ | ○ |
| （総合的な学習の時間）  「わたしブックをもとに伝え合おう」  　　　（２） | ○単元を通して積み上げて作成してきた「わたしブック」をもとに伝え合う。 | ○ | ○ |  | ・単元を通して学んだ語彙や表現を理解し，「わたしブック」をもとに。ALTや友達と思いを伝え合っている。  表現：Where do you live?  What do you usually on Sundays?  What is your treasure?  ☆クロームブックのジャムボードに学んだ語句をまとめる。 | ○ | ○ |  |

１　学　年　第６学年　男子１０名　女子１１名　計２１名

２　本時の目標

　自分の宝物を伝える語彙や表現My treasure is ～. を理解し，自分の宝物を相手に伝えることができる。

３　本時の「学び」を実行する振り返り確認問題　　と　　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自分の宝物を伝える時は，「My treasure is～.」という表現を使う。  ＊まとめの際に，「My treasure is～.」の表現ができるかを一人ずつに言わせ，確認する。 | A | My treasure is ～. の表現を使い，自分の宝物を相手に伝え，簡単な語句や基本的な表現を用いて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 |
| B | My treasure is ～. の表現を使い，自分の宝物を相手に伝えている。 |
| C | My treasure is ～. の表現を使うことができない。 |

４　板書計画

|  |
| --- |
| 5./31 単元のゴール：「わたしブック」を使って，伝え合おう。  【学習の流れ】  １読む・書く練習  （単語，文章）  ２クロームブックにまとめる。  ３伝え合う  ４まとめとふり返り  　自分の宝物（treasure）を友達に伝えよう。  めあて  まとめ  自分の宝物を伝える時は，「My treasure is～.」という表現を使う。  日常生活の語彙    　　　　　　　　　　　　 A:　What is your treasure?  　　　　　　　　　　　　　あなたの宝物は何ですか。  B:　My treasure is　～.  　　わたしの宝物は，～です。    「わたしブック４」  ①ジャムボードを開く。  ②２つを入れてまとめる。  （宝物写真，宝物の語彙）  ③練習  買えるか，買えないかが  **はやく　かんたんに**  わかるコツは，  １つが１００円で買えるかどうかを考えるとよい。 |

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習  展開 | 「学び」の過程 | ◇全体や個への手立て  ◆他教科等との関連  ☆ICTの活用 |
| ・児童の思考の深まり（具体） ○教師の問い（具体) |
| 課題設定・情報収集 | 問題場面  の設定  課題設定  解決の見通し | ○挨拶をする。（気分，曜日，月，天気）  ○教師の宝物箱を提示し，めあてへつなげる。  ・treasureは，宝物という意味なんだ。  ○単元のゴールと本時のめあてを提示し，見通しを持たせる。  　　単元ゴール：「わたしブック」を使って，伝え合おう。  めあて　　自分の宝物（treasure）を友達に伝えよう。 | ◇はっきりとした声で気持ちのよい挨拶を交わすために，表情を大切にしたり，ジェスチャーを入れたりする。  ◇単元のゴールを明確に示し，本時での学びの目的を持たせ活動に取り組ませていく。  ◇45分間の活動内容を提示し，見通しを持たせる。 |
| 整理・分析 | 自力解決  集団思考  協働学習で「学び」を確かめる | ○宝物をみんなに紹介する。  「What‘s　this？」  ・PDのP.26,27「日常生活」の語彙の発音練習をする。  （ミッシングゲーム）  ○自分の宝物を伝える表現「My treasure is～.」を伝える。  ・「My treasure is～.」　～の部分を変えながら練習する。  （チャンツ）  ○自分の宝物を書き，練習しましょう。  ・「My treasure is～.」と４線上に書き，自分の宝物を伝える言い方を知る。  ○クロームブックを活用して，「宝物シート」を作成しましょう。  ・ジャムボードに写真を貼り付けたり，語彙を書いたりして宝物シートを作成する。  　①宝物の写真　②宝物の語彙  ○宝物を友達に伝えよう。  ・ジャムボードを見せながら，友達と伝え合う。  　A:「What is your treasure?」  B:「My treasure is～.」 | ◇宝物箱を活用し，掲示の工夫を図る。  ◇文字にも触れさせるために，絵カードに英語を合わせて書き，発音させる。  ◇リズムにのってチャンツを行うことで，本時の活動で使用する表現に慣れさせる。  ◆学級活動でクラスのみんなに紹介した宝物カードを活用する。  ◇英語での宝物の語彙は，事前に辞書で調べたり，ロリト先生に聞いたりして書かせておく。  ◆総合的な学習の時間「クロームブックを使えるようになろうプロジェクト」との関連を図る。  ☆クロームブックのジャムボードを活用し，２点をまとめさせる。  ①宝物の写真  ②宝物の語彙  ◇ローマ字入力の難しい児童には，ローマ字表を渡す。  ◇友達との伝え合いの場では，伝える側と聞く側の大事なことを確認する。 |
| まとめ | 「学び」のまとめ  まとめ  自分の宝物を伝える時は，「My treasure is～.」という表現を使う。 | ○本時のまとめをしましょう。 | ◇「My treasure is～.」の部分を一人一人の児童に言わせ，まとめとする。 |
| 実行・振り返り | 「学び」の実行  「学び」の振り返り | ○本時の活動を振り返りましょう。  ・学びを自分の言葉で書く。  ○挨拶をする。 | ◇本時の学習でよかったところを認める。  ☆ノーベル平和賞を受賞したマララさんの宝物を提示しながら，次時の学習を伝え，意欲を高める。 |